

日本数学会奨励研究生内規

制定 平成 30 年 9 月 24 日

(総則)

1. 日本数学会は、以下に定めるところに従って日本数学会奨励研究生（以下「奨励研究生」という）を採用するものとする。

(目的)

2. 日本数学会の会員であって学位（博士）取得見込み、または取得後 3 年以内の有望研究者を奨励研究生として採用し研究奨励金を支給する。特に、経済的に困難な状況や研究施設が必ずしも十分ではない等の厳しい研究環境の下でも創意工夫を凝らして主体的に研究を進めている者を奨励することを目的とする。

(細則)

3.
 - 3.1. 研究奨励金の概要
 - 奨励研究生の採用期間は 1 年間とし、研究奨励金 30 万円を支給する。ただし、奨励研究生の採用は 1 回のみとする。
 - 研究奨励金の性格は奨学金と同じである。支給期間中および支給後の出版論文で研究支援について謝辞を記載することを奨励する。その際、英文名称は、
Foundation of Research Fellows, The Mathematical Society of Japan, とする。
 - 原則、支給期間中または支給期間終了後 1 年以内に日本数学会年会、または秋季総合分科会で一般講演等の講演を行うこととする。その際、1 回分の国内旅費は日本数学会が負担するものとする。
 - 支給期間終了時には報告書を提出することとする。
 - 3.2. 奨励研究生の資格
 - (i) 日本数学会の会員であって学位（博士）取得見込みまたは取得後 3 年以内の研究者。
 - (ii) 当該年度の日本学術振興会特別研究員（PD）または外国人特別研究員の公募に申請を行った者。
 - (iii) 有職者（任期付助手・助教も含む）は原則として採用しない。

- (iv) 学術振興会特別研究員（PD 等），外国人特別研究員は原則として採用しない。
- (v) 科研費等の競争的外部資金による期限付きの研究員は個別に判断するものとする。
- (vi) 採用時に就職した場合は受給を辞退するものとする。

(選考委員会)

4. 奨励研究生候補者の選考のため，日本数学会 奨励研究生選考委員会（以下「選考委員会」という）を置く。選考委員の選出については別に定める。

(公募)

5. 理事長は，毎年数学通信，HP 等により奨励研究生の採用を公募することとする。

(候補者の答申)

6. 選考委員会は，前条に従って推薦された者のうちから10件程度を選考して理事長に答申する。

(決定)

7. 理事長は選考委員会から答申された奨励研究生候補者について理事会にはかり決定する。

(公表)

8. 奨励研究生の氏名については「数学通信」に発表する。

(財源)

9. 日本数学会の一般会計並びにその他の寄付金をもって充てる。

(付則)

この内規は平成30年9月24日から施行する。また，第一回の採用は平成31年度4月からとし，平成33年度までの3年間の制度とする。それ以降の制度の継続の有無，見直しについては平成33年度中に議論する。

日本数学会奨励研究生選考委員会規則

制定平成 30 年 9 月 24 日

(総則)

- 第1条 (設置) 日本数学会に奨励研究生選考委員会 (以下「委員会」) を置く。
- 第2条 (目的) 日本数学会の会員であって学位 (博士) 取得見込み, または取得後 3 年以内の有望研究者を奨励研究生として採用するための候補者を選考し, 理事会に推薦する。
- 第3条 (委員) 委員会は, 担当理事1名と10の分科会および特別セッションから選出された正副の委員22名で構成する。委員のうち1名を委員長とする。
- 第4条 (委嘱) 委員会は, 次年度委員の候補22名を理事会に推薦する。この推薦リストを参考に, 22名の委員を理事会が選考し, 理事長が委嘱する。
- 第5条 (任期) 委員の任期は4月1日から翌年の3月31日までの1年とする。再任は妨げないが4期続けて委員となることは出来ない。
- 第6条 (公募) 委員会は, 理事会の承認を得た上で, 数学通信, HP 等を通じて会員に理事長名で奨励研究生の公募を行うものとする。
- 第7条 (選考) 委員会は, 公募の中から奨励研究生候補者を選考し, 理事会に推薦する。
- 第8条 (改定) 本規定の改定は, 理事会においておこなう。

(付則)

平成 31 年度(2019 年度)第 1 回日本数学会奨励研究生募集要項

日本数学会では、このたび日本数学会奨励研究生(以下、奨励研究生)の制度を開始することになりました。この制度の実施期間は 3 年間です。平成 31 年度の募集を行いますので、希望者は、以下の要項を熟読の上、ご応募ください。

1. 奨励研究生制度の趣旨

日本数学会の会員であって学位(博士)取得後 3 年以内の有望研究者を奨励研究生として採用し研究奨励金を支給します。特に、経済的に困難な状況や研究施設が必ずしも十分ではない等の厳しい研究環境の下でも創意工夫を凝らして主体的に研究を進めている者を奨励することを目的としています。

2. 奨励研究生制度の概要

- (1) 奨励研究生の採用期間は 1 年間とし、研究奨励金 30 万円を支給します。ただし、奨励研究生への採用は 1 回のみとします。
- (2) 原則として、支給期間中または支給期間終了後 1 年以内に少なくとも 1 回日本数学会年会、または秋季総合分科会で一般講演等の講演を行って頂きます。その際、1 回分の国内旅費は日本数学会が負担します。
- (3) 支給期間中および支給後の出版論文で研究支援について謝辞を記載することを奨励します。その際、英文名称は、Foundation of Research Fellows, The Mathematical Society of Japan, とします。
- (4) 支給期間終了時には報告書を提出して頂きます。

3. 申請資格

以下のすべてに該当する必要があります。

- (1) 日本数学会の会員であって平成 31 年 4 月 1 日の時点で学位(博士)取得後 3 年以内(学位(博士)取得が平成 28 年 4 月 2 日以後)の研究者を対象とします。学位(博士)取得見込みまたは会員申込中の者も申請可としますが、採用時には学位(博士)を取得済みで、会員となっている必要があります。
- (2) 平成 31 年度(2019 年度)の日本学術振興会特別研究員(PD)に申請した者、または同年度外国人特別研究員(一般)において、招へい研究者として申請した者に限ります。
- (3) 有職者(任期付助手・助教も含む)は原則として採用しません。
- (4) 学術振興会特別研究員、外国人特別研究員は原則として採用しません。
- (5) 科研費等の競争的外部資金による期限付きの研究員は個別に判断することにします。
- (6) 採用の時点で、職を得ている場合は受給を辞退して頂きます。

4. 採用人数

10 人程度.

5. 採用期間(支給期間)

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日.

ただし, 今回, 採用された人は次年度以後,
原則として採用されないことに注意してください.

6. 申請手続き・申請期間

(1) 日本数学会のサイト, <http://...>※決まり次第追記 (9/24)
から申請書類をダウンロードし shourei@mathsoc.jp に電子メールで送付してください.
その際, 件名は, 奨励研究生, メール本文の宛先は, 日本数学会 奨励研究生係,
としてください.

申請期間は, 11 月 1 日 10:00 から 11 月 30 日 23:59 までとします.

(2) 申請は一人一件に限ります.

(3) 申請後, 就職したなど申請資格を失った場合, あるいは申請資格(5)の
期限付き研究員になった場合などは, 速やかに数学会事務局(電子メールアドレス)
に連絡してください.

(4) 申請書類に虚偽の記載が含まれている時は, 奨励研究生の資格を失い,
研究奨励金の返還をお願いすることもありますので, 注意してください.

7. 選考および結果の開示

選考委員会での選考後、理事会で最終候補者を決定します。
候補者への個別連絡により、奨励研究生の資格を満たしていることを確認します。
奨励研究生の氏名は数学会ホームページ、数学通信誌上で発表します。

8. 採用内定後の必要な手続き

(1) 学位取得証明書を事務局に提出して下さい。万が一,
採用内定時点で証明書が得られない場合は, 必ず連絡をしてください.

(2) 奨励研究生としての宣誓書に署名し, 郵送してください.

(3) 研究奨励金の振り込みに関して事務局から連絡をします.

(4) 研究奨励金は所得税法上, 「雑所得」扱いとなるため,
課税対象になります.
希望する場合は支払証明書を発行しますので,
日本数学会事務局に申し出てください.
居住地所轄の税務署で確定申告を行ってください.
収支状況の記録や領収書等の証拠書類を保存しておく必要があります.
申告手続き等について不明な点がありましたら,
ご自身で税務署等へお問い合わせください.

9. 奨励研究生の義務について

(1) 日本数学会年会, または秋季総合分科会で
一般講演等の講演を行って頂きます. その旅費の申請は
オンラインでの講演申し込み終了後, 事務局(shourei@mathsoc.jp)
に連絡して行ってください.

(2) 支給期間終了後、報告書の提出をお願いします。

その体裁は問いませんが、

(i)研究成果内容, (ii)出版論文, 出版予定論文, プレプリントのリストをつけるようにしてください。

(3) 支給期間中および支給後の出版論文で研究支援について謝辞を記載することを奨励します。

記載する場合の英文名称は、「2.研究奨励金の概要」の項目をご覧ください。

10. 本募集に関する連絡先

〒110-0016 東京都台東区台東 1-34-8 日本数学会奨励研究生係

E-mail: shourei@mathsoc.jp

(1) 郵便物は、上記の住所にお送り下さい。その際、宛先名は、日本数学会奨励研究生係、としてください。

(2) 電子メールは上記のアドレスにお送り下さい。その際、件名は、奨励研究生、メール本文の宛先は、日本数学会奨励研究生係としてください。

平成 31 年度(2019 年度)日本数学会奨励研究生応募ファイル

注意事項:

- (1) この応募ファイルは I 申請者情報, II 研究内容からなる word ファイルです.
TeX で同じ内容のファイルを作成し, pdf ファイルを送付しても構いません.
- (2) その際, この word ファイルでは, 枠内に記載するようになっていますが, 枠の作成が困難な場合, 枠を作成する必要はありません.
- (3) ただし, 応募ファイル内の内容については, 記載順番・文言・文章の変更はしないようにして下さい.

I 申請者情報

申請者の以下の情報を記載して下さい。使用言語は日本語とします。

- ① 氏名(アルファベット, 漢字, カタカナの順番)を記載して下さい。漢字名がない場合は漢字名の記載は必要ありません。

- ② 国籍

- ③ 生年月日

- ④ 現住所

- ⑤ 連絡先(電子メールおよび携帯番号) 郵便物を受け取れる住所も書いて下さい。現住所と同じならば不要です。

- ⑥ 現在の所属

現在の所属・身分(例えば, 大学院博士課程在籍の場合は、所属大学院・学年等、学術振興会 DC2, 科研費の研究支援者, あるいは研究生など)を書いて下さい。

⑦ 学歴(学部・修士・博士)

大学, 学部, 学科名, 大学院名, 専攻名等および在籍年度等を記入して下さい。

⑧ 博士号取得状況について(見込みの場合はそのように書くこと)

取得(予定)大学院名, 取得日(平成 31 年 4 月 1 日までに取得見込みの場合は取得見込み)を書いて下さい。

⑨ 研究・職歴等

これまでの研究・職歴等について記載して下さい。

⑩ 奨励研究生の申請資格を満たしていることを確認しましたか。

申請資格について, さらに以下の項目にお答え下さい。

(i) 奨励研究生の申請資格の一つである(2)の学術振興会特別研究員(PD)または外国人特別研究員(一般)のどちらに応募しましたか。学術振興会特別研究員(PD)の場合, 面接候補者に残っていますか。

(ii) 数学会の会員番号を記載して下さい。申し込み中の場合はそのように書いて下さい。

⑪ 奨励研究生は原則、日本数学会年会または秋季総合分科会の一般講演等で講演をすることになっています。講演を希望する分科会名またはセッション名を記入して下さい。

--

⑫ 問い合わせ先

申請者の研究内容をよく理解している研究者を1名あげて下さい。この研究者の方には、申請者の研究などについて問い合わせをすることもあります。特になんらかの義務が発生するものではありません。この問い合わせ先の研究者の氏名、所属、連絡先(電子メールアドレス)、数学会会員の場合は会員番号を書いて下さい。なお、問い合わせ先研究者の方には、了承を取っておいて頂くようお願いいたします。

--

II 研究内容

以下の内容について記載して下さい。使用言語は日本語または英語とします。

1. 専門分野および研究課題名

(1) 専門分野名を記載して下さい。

--

(2) 奨励研究生としての採用期間中の研究課題名を記載して下さい。

--

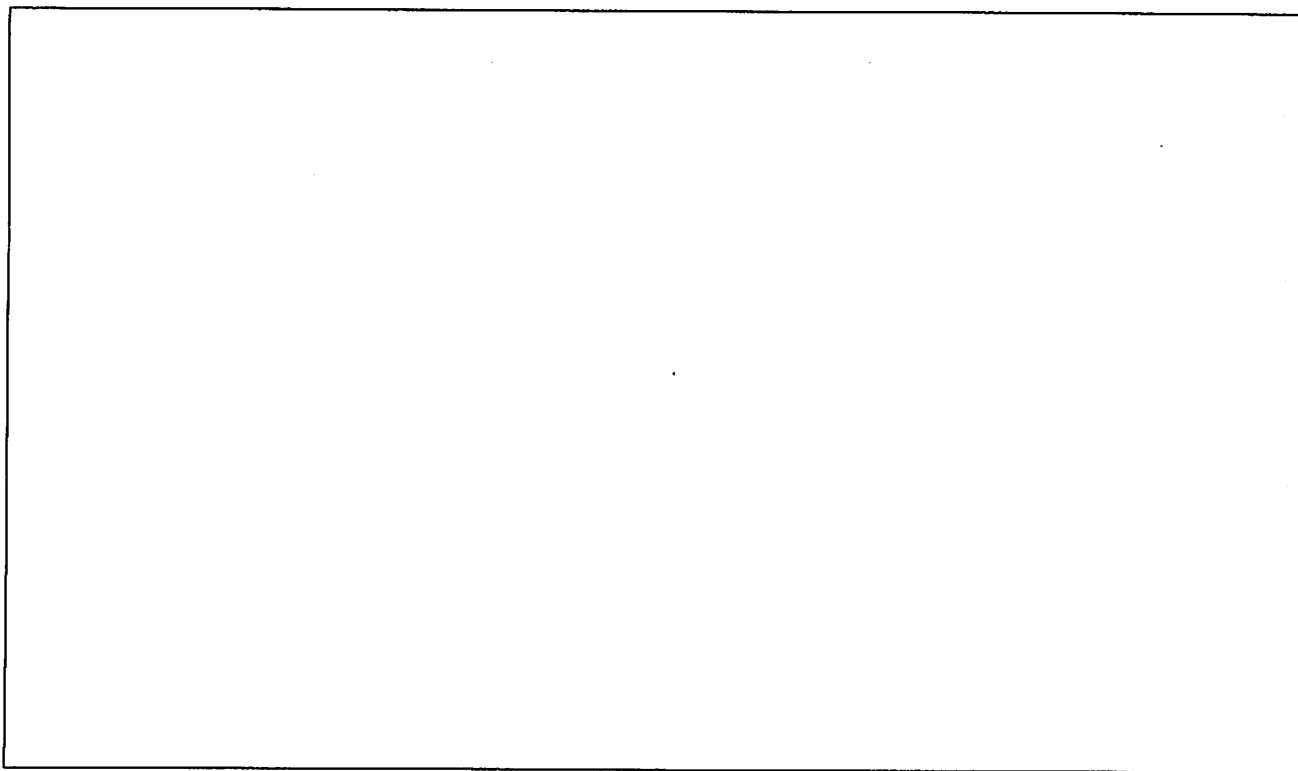
2. 現在までの研究状況

--

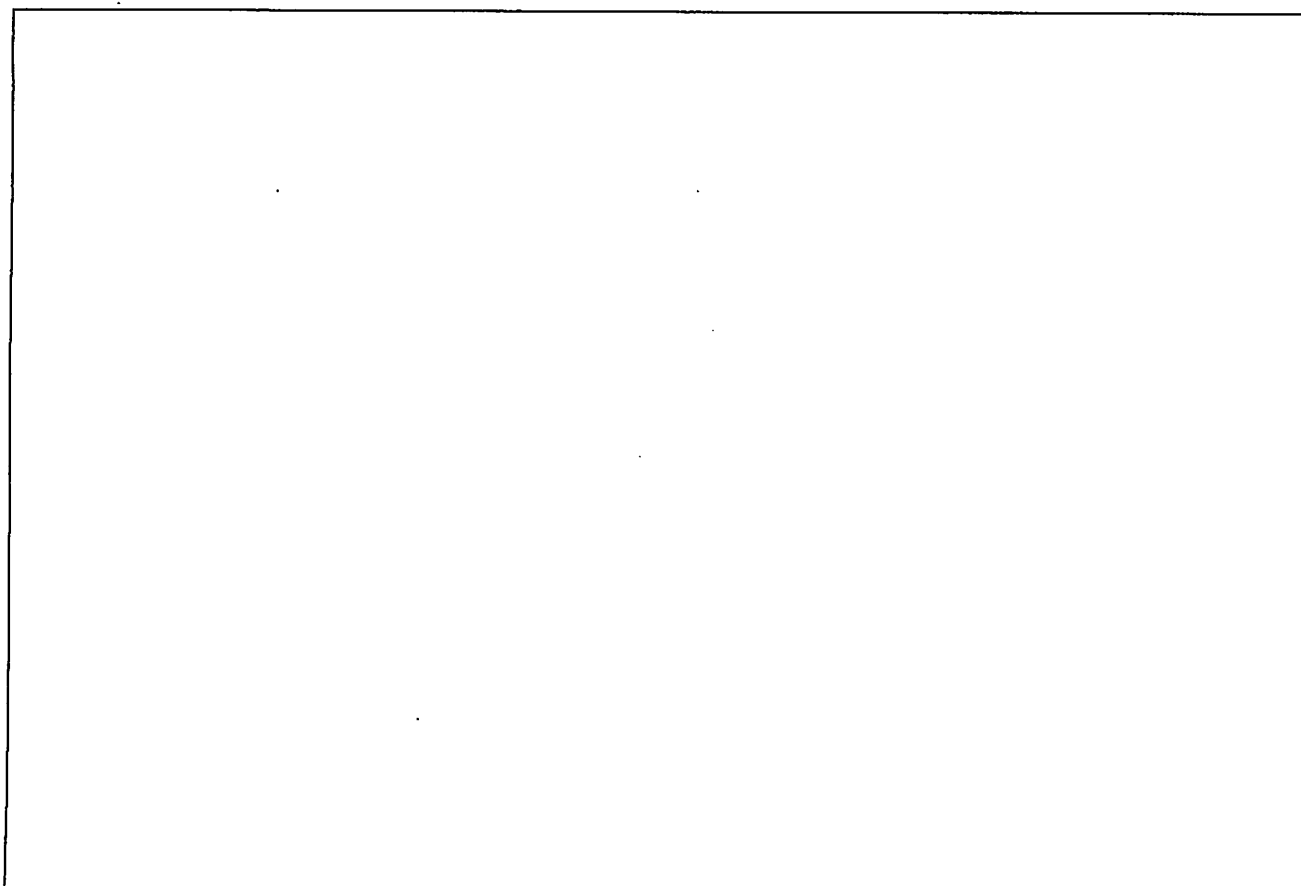
(現在までの研究状況の続き)

3. これからの研究計画

(1) 研究の背景

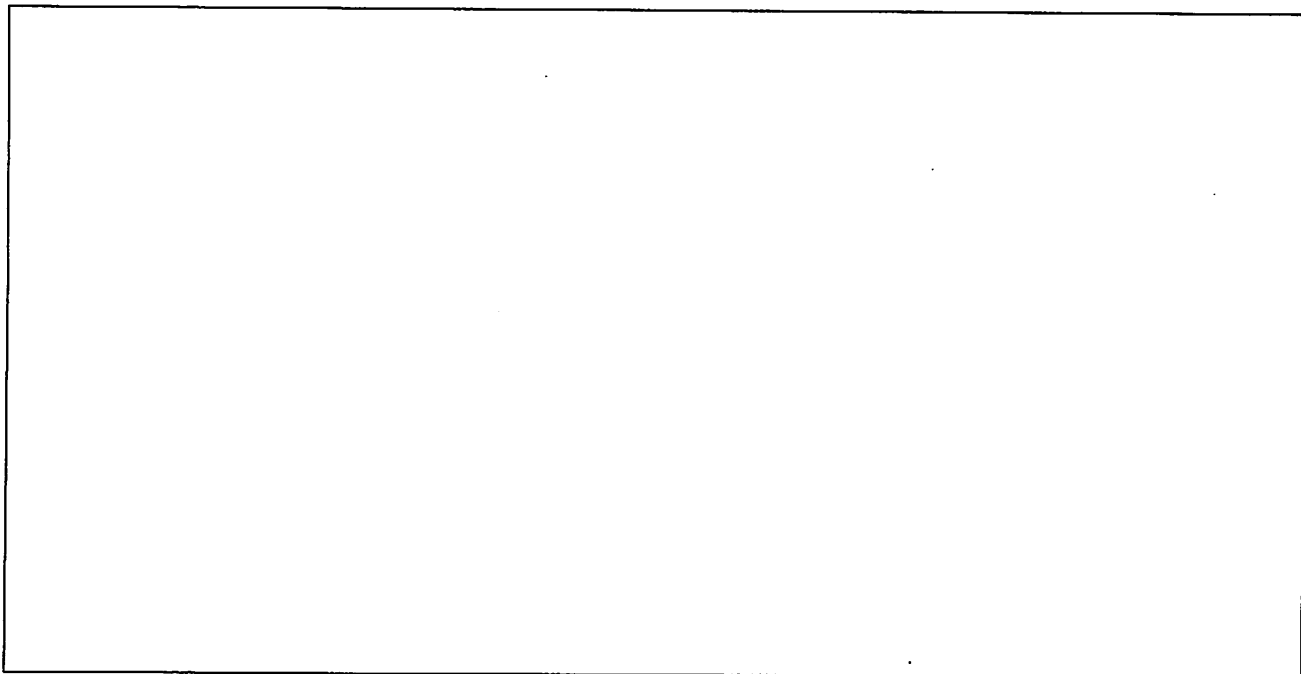


(2) 研究目的・内容



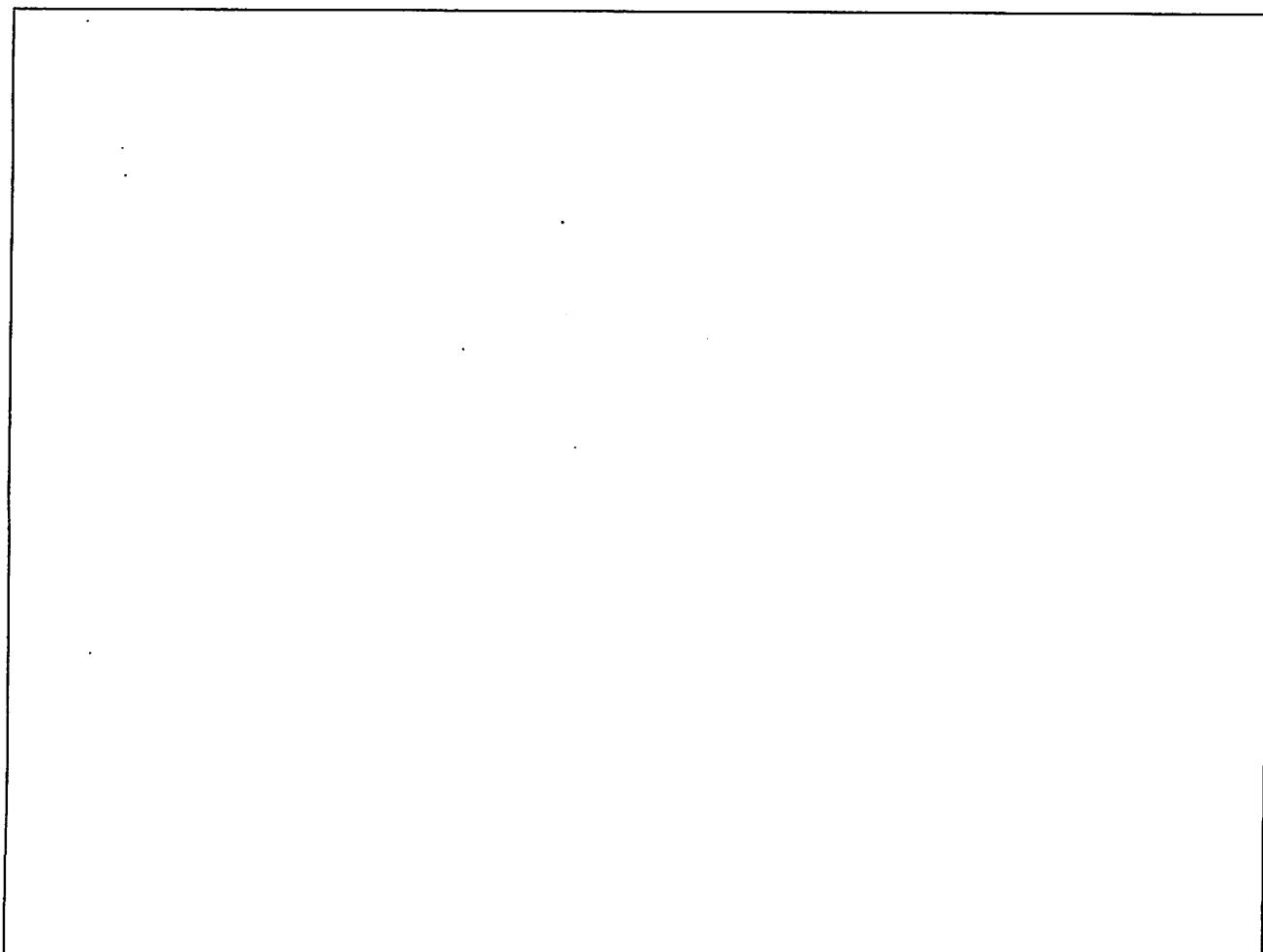
(研究目的・内容の続き)

(3) 研究の特色・独創的な点



(4) 年次計画

奨励研究生の期間にこだわらず、数年の期間にわたっても構わないので、
今後の研究計画を書いて下さい。



4. これまでの研究成果等

(1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文, 著書(査読の有無も記載して下さい)

(2) 学術雑誌等または商業誌における解説, 総説

(3) 上記(1), (2)に該当しないプレプリントについて, プレプリント・サーバー名など(arXiv の場合は投稿番号なども)を記載して下さい.

(4) 国際研究集会における発表著者名, 発表タイトル, 発表学会名, 場所, 年月を記載して下さい. 発表者に○を付して下さい.

(5) 国内研究集会・日本数学会年会および秋季総合分科会等における発表について(4)と同様に記載して下さい.

(6) その他(受賞歴等)

--

(研究成果等の続き)